

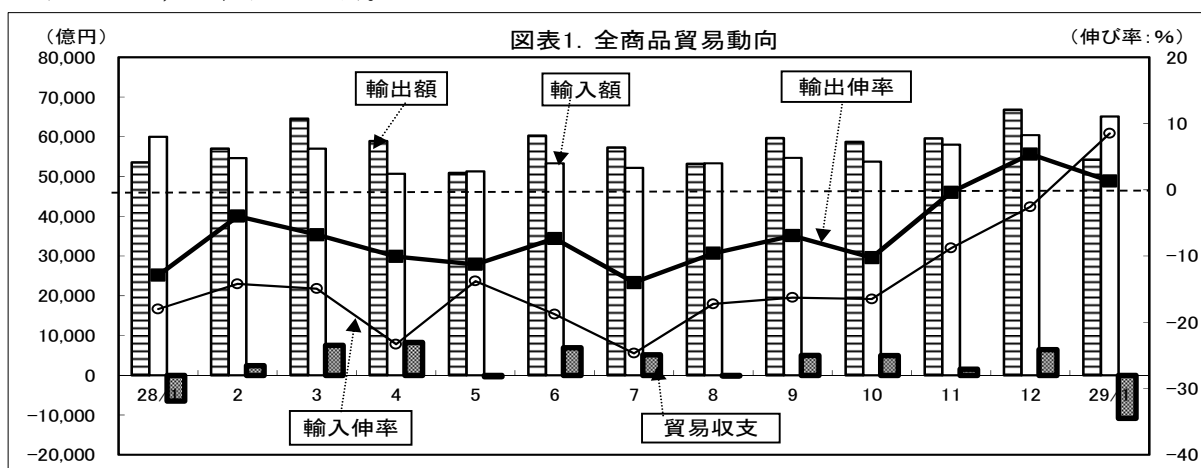
「最近の機械貿易動向(1月)～機械輸出伸び率再びマイナスへ～」

日本機械輸出組合 2017.3.16.

平成 29 年 1 月の機械輸出額は 3 兆 4,829 億円、対前年同月比 0.2%減と、再びマイナスとなった。これは、①北米、EU、その他地域向けがマイナスとなったこと、②自動車をはじめ、主要な 21 輸出業種のうち 13 業種がマイナスとなったことなどによる。為替・営業日要因が 6.2%の減少寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は 6.0%増となった。平成 29 年 2 月の為替・営業日要因は 3.8%の増加寄与要因となっているが、3 月 8 日発表の貿易統計速報によれば 2 月上中旬の全商品輸出は 16.1%増であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は 2 ヶ月連続プラス、輸入も 28 ヶ月ぶりにプラス～

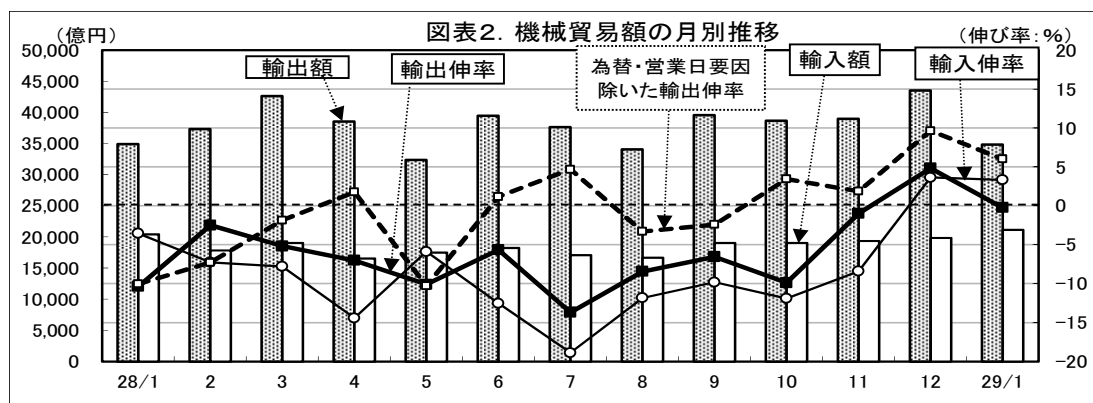
- 平成 29 年 1 月の全商品輸出額は **5 兆 4,220 億円**、前年同月比(以下同じ)**1.3%増**と 2 ヶ月連続でプラスとなった(12 月 5.4%増)。これは、全輸出額の約 25%を占める輸送用機器(3.5%減)、電気機器(1.1%減)がマイナスとなったものの、約 11%を占める化学製品(1.5%増)等がプラスとなったためである。
- 輸入額は **6 兆 5,096 億円**、**8.5%増**と 25 ヶ月ぶりのプラスとなった(12 月 2.6%減)。これは、全輸入額の約 22%を占める原粗油等鉱物性燃料(26.1%増)が原油価格等の上昇から 28 ヶ月ぶりにプラスとなった他、約 17%を占める電気機器(5.3%増)、鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(7.4%増)、一般機械(9.8%増)等がプラスとなったことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、1 兆 876 億円と 5 カ月ぶりの赤字となった。(12 月は 6,404 億円の黒字)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は 2 ヶ月ぶりにマイナス～

- 全商品輸出額の約 64%を占める 1 月の機械輸出額は **3 兆 4,829 億円**、**0.2%減**と 2 ヶ月ぶりにマイナスとなり(12 月 4.8%増)、その水準は、リーマンショック前(2008 年 1 月)と比べると **79.6%**となっており、前月に比べて 5.6 ポイント悪化した(12 月 85.2%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的な伸び率は 6.0%増**であった。
- 一方、全商品輸入額の約 32%を占める機械輸入額は、**2 兆 1,111 億円**、**3.3%増**と 2 ヶ月連続でプラスとなり(12 月 3.6%増)、リーマンショック前(2008 年 1 月)の水準に比べ、23.0%増となっている。

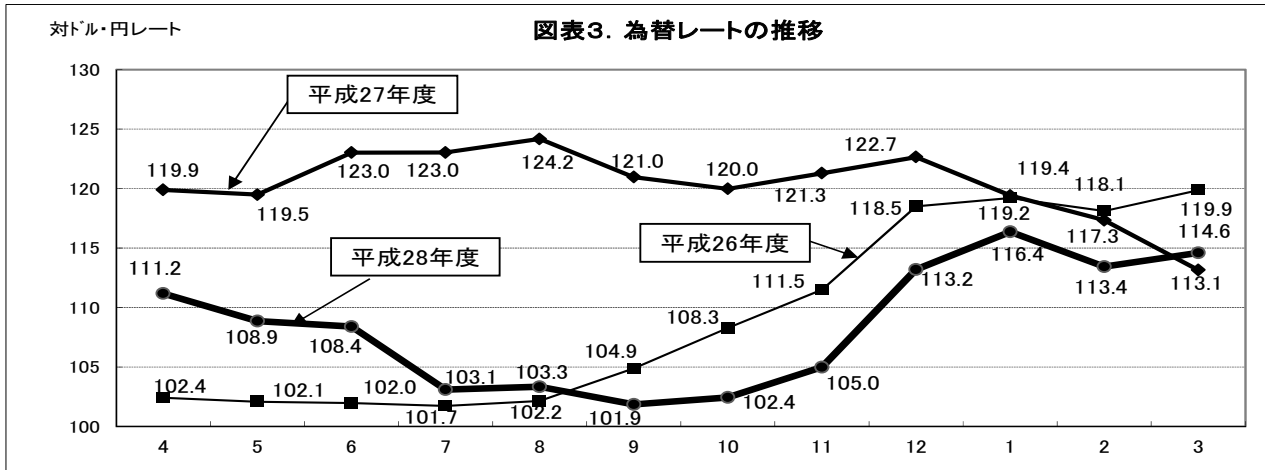


(2) 為替・営業日動向～1月は6.2%の減少要因、2月は約3.8%の増加要因～

1) 2017年1月は1ドル＝116.4円となり、前年に比べ2.5%の円高となった。また、対ユーロは122.4円と前年に対して6.0%の円高となり、合わせて約1.6%の為替減少要因となった。営業日は前年と同じであるが、春節の影響で中華圏の営業日は前年に比べて3日少なく、約4.7%の減少要因となり、合計で約6.2%の減少要因となる。1月の輸出額は0.2%減であったことから、実質的伸び率は6.0%増と4ヶ月連続でプラスとなった(12月9.6%増)。

2) 2017年2月は1ドル＝113.4円で前年比3.3%の円高、対ユーロは121.5円で前年比6.0%の円高となり、合わせて約2.0%の為替減少要因となった。営業日は前年と同じであるが、春節の影響で中華圏の営業日は前年に比べて2日多く、約5.9%の増加要因となり、合計で約3.8%の増加要因となる。

3) 2017年3月は、対ドルが3月15日17:00時点の114.6円とすれば、前年に比べて1.3%の円安、また、対ユーロは122.0円で2.6%の円高となり、合わせると約0.5%の為替増加要因となる。営業日は前年と同じため、合計で約0.5%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～韓国・台湾、中国、ASEAN・南アジア向けがプラス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の25.3%を占める最大輸出先の北米向けでは、全体の51%を占める自動車(6.3%減)や産業機械(1.5%減)、航空機部品(8.9%減)等が減少し、6.9%減となった。②19.1%を占める中国向けでは、産業機械(14.7%増)、電子デバイス(12.6%増)、自動車(18.3%増)等がプラスとなって5.2%増となり、③14.7%のASEAN・南アジア向けは、フィリピン(9.2%減)、マレーシア(7.2%減)、インド(6.4%減)がマイナスとなったものの、パキスタン(23.5%増)、インドネシア(23.1%増)、シンガポール(20.8%増)等が大きくプラスとなり、業種では、全体の23%を占める自動車(3.0%減)、産業機械(7.6%減)等がマイナスとなったものの、電子デバイス(7.2%増)、配電機器等軽電気機械(13.2%増)、船舶(54.1%増)等がプラスとなり、4.4%増となった。④12.2%を占めるEU向けは、35%を占める自動車(4.8%減)、理化学用機器等軽機械(3.5%減)等がマイナスとなって5.1%減となり、⑤10.6%を占める韓国・台湾向けは、半導体製造装置、風水力機械等産業機械(41.0%増)、光学機械(14.2%増)、軽電気機械(24.2%増)等が大きく増加して12.3%増となった。⑥18.1%のその他地域向けでは、中近東(20.8%減)、中南米(5.0%減)向け等がマイナスとなり、機種では、55%を占める自動車(1.0%増)、産業機械(9.4%増)がプラスとなったものの、船舶(13.4%減)がマイナスとなって2.4%減となった。

2) また、リーマンショック前の2008年1月の地域別輸出額と比較すると、100%を超えた地域はなく、ASEAN・南アジア、中国向けが90%台、韓国・台湾、北米向けが80%台、その他地域向けが70%台、EU向けが50%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2016/11			2016/12			2017/1			対08年 1月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	38,978	▲ 1.0	100.0	43,548	4.8	100.0	34,829	▲ 0.2	100.0	0.80
北米	10,378	0.1	26.6	11,555	2.9	26.5	8,799	▲ 6.9	25.3	0.81
中国	8,448	6.2	21.7	9,854	15.6	22.6	6,650	5.2	19.1	0.96
ASEAN・南アジア	5,630	▲ 0.7	14.4	6,278	3.2	14.4	5,119	4.4	14.7	0.99
EU	4,478	▲ 4.5	11.5	5,234	▲ 2.2	12.0	4,243	▲ 5.1	12.2	0.56
韓国・台湾	3,981	12.2	10.2	4,941	28.0	11.3	3,706	12.3	10.6	0.85
その他	6,064	▲ 15.1	15.6	5,685	▲ 12.4	13.1	6,312	▲ 2.4	18.1	0.71

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

図表5. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2016/10		2016/11		2016/12		2017/1	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,027	2.4	2,095	25.5	2,547	33.9	2,067	34.6
台湾	2,062	0.9	1,887	0.3	2,394	22.3	1,640	▲ 7.1
ASEAN・南アジア								
タイ	1,514	▲ 11.4	1,490	▲ 6.0	1,618	▲ 1.2	1,311	▲ 0.5
シンガポール	718	▲ 28.4	786	▲ 3.9	972	9.7	956	20.8
インドネシア	600	1.5	640	10.4	642	1.5	613	23.1
マレーシア	618	▲ 10.5	617	4.2	685	0.2	524	▲ 7.2
フィリピン	639	▲ 0.4	613	▲ 3.4	655	9.9	517	▲ 9.2
ベトナム	679	3.7	657	4.1	757	7.7	479	0.4
インド	370	▲ 10.3	431	4.6	475	▲ 6.8	350	▲ 6.4
パキスタン	158	▲ 4.7	147	10.9	181	13.2	108	23.5
その他地域								
中南米	1,771	▲ 12.6	1,797	▲ 16.2	1,634	▲ 9.6	2,140	▲ 5.0
中近東	1,757	▲ 28.2	1,827	▲ 28.5	1,763	▲ 29.1	1,419	▲ 20.8
大洋州	1,211	▲ 2.9	1,018	▲ 17.3	993	3.3	1,242	9.7
ロシア東欧等	987	3.8	795	1.6	787	4.1	774	6.1
アフリカ	467	▲ 19.9	603	36.6	460	1.5	622	31.1

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～21業種中プラスは8業種。通信機械等6業種が二桁のマイナス～

- 1)業種別では、21業種中8業種がプラスとなり、前月に比べて5業種減少した。業種では、全体の約34%を占める自動車(2.0%減)がマイナスとなった他、通信機械(13.5%減)、工作機械(13.7%減)、電子計算機(14.1%減)等6業種が二桁減となり、機械全体で0.2%減となった。
- 2)リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、医療機械、軽機械、ベアリング、鉄道車両、光学機械の6業種となった(12月は7業種)、他方、電子計算機、民生用電子機械、産業車両が40%台の低い水準にある。

図表6 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

業種名	2016/11			2016/12			2017/1			対08/1比		
	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額		伸び率	シェア
自動車	14,794	▲ 3.9	38.0	自動車	15,899	0.6	36.5	自動車	11,971	▲ 2.0	34.4	0.75
産業機械	6,683	5.7	17.1	産業機械	8,097	14.0	18.6	産業機械	5,989	10.6	17.2	0.91
電子デバイス	3,121	6.8	8.0	電子デバイス	3,463	15.1	8.0	電子デバイス	2,900	3.3	8.3	0.79
軽電気機械	1,991	3.7	5.1	軽電気機械	2,337	10.1	5.4	船舶	2,214	▲ 1.2	6.4	0.89
重電気機械	1,869	4.9	4.8	重電気機械	2,131	9.7	4.9	軽電気機械	1,760	2.5	5.1	0.80
軽機械	1,543	▲ 0.9	4.0	軽機械	1,752	▲ 3.1	4.0	重電気機械	1,536	▲ 1.2	4.4	0.90
民生用電子機械	1,358	▲ 4.6	3.5	民生用電子機械	1,604	9.6	3.7	軽機械	1,274	▲ 8.4	3.7	1.09
光学機械	1,225	▲ 8.7	3.1	光学機械	1,448	4.5	3.3	民生用電子機械	1,215	▲ 2.5	3.5	0.45
船舶	1,191	3.2	3.1	建設機械	963	7.1	2.2	光学機械	1,166	9.0	3.3	1.01
建設機械	865	10.6	2.2	船舶	836	18.0	1.9	建設機械	955	10.4	2.7	0.84
航空機部品	631	▲ 13.1	1.6	航空機部品	667	▲ 16.4	1.5	航空機部品	666	▲ 8.1	1.9	1.74
通信機械	589	▲ 16.7	1.5	工作機械	663	▲ 7.0	1.5	通信機械	487	▲ 13.5	1.4	0.64
工作機械	525	▲ 16.0	1.3	通信機械	645	5.3	1.5	工作機械	448	▲ 13.7	1.3	0.65
医療機械	423	▲ 8.3	1.1	医療機械	525	▲ 4.2	1.2	医療機械	368	▲ 9.3	1.1	1.11
電子計算機	406	▲ 10.1	1.0	電子計算機	459	▲ 10.9	1.1	電子計算機	361	▲ 14.1	1.0	0.40
ベアリング	369	0.6	0.9	ベアリング	415	2.3	1.0	ベアリング	333	2.7	1.0	1.08
陸用内燃機関	325	5.5	0.8	陸用内燃機関	397	9.7	0.9	陸用内燃機関	309	4.4	0.9	0.83
繊維機械	183	▲ 3.2	0.5	繊維機械	220	1.0	0.5	繊維機械	165	16.1	0.5	0.86
農業機械	158	▲ 18.0	0.4	農業機械	197	▲ 3.2	0.5	農業機械	149	▲ 19.4	0.4	0.70
産業車両	115	▲ 4.5	0.3	鉄道車両	127	▲ 8.5	0.3	産業車両	87	▲ 12.4	0.2	0.46
鉄道車両	112	66.0	0.3	産業車両	107	▲ 17.1	0.2	鉄道車両	52	▲ 74.2	0.1	1.08
21業種合計	38,477		98.7	21業種合計	42,952		98.6	21業種合計	34,355		98.6	0.80

はリーマンショック前の水準を超えたもの。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5) 機種別動向～半導体製造装置等が大幅増、鉄道車両、発電機等が大幅減～

1) 10%以上の伸び率を示した機種のうち上位 10 機種は、①韓国・台湾、中国向け半導体製造装置(62.4%増)、②中国、ASEAN・南アジア向け配電機器(17.3%増)、③ASEAN・南アジア、中国向け繊維機械(16.1%増)、④ASEAN・南アジア、韓国・台湾向け電気・電子計測器(15.9%増)、⑤中国、北米、ASEAN・南アジア向けバルブ・コック(14.3%増)、⑥北米、ASEAN・南アジア向け磁気カード・ディスク等(12.0%増)、⑦中国向けその他の光学機器(11.8%増)、⑧北米、中国向け電動機(10.6%増)、⑨北米向け自動車部品(10.4%増)、⑩北米、その他地域向け建設機械(10.4%増)であった。

2) 一方、鉄道車両(74.2%減)、発電機(50.5%減)、をはじめ、マイナス伸び率上位 10 機種すべてが二桁の大幅な減少であった。

図表7. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位: 億円、%)

2016/11			2016/12			2017/1		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
鉄道車両	112	66.0	半導体製造装置	2,291	56.6	半導体製造装置	1,860	62.4
原動力機械	540	29.6	配電機器	634	26.5	配電機器	451	17.3
半導体製造装置	1,532	25.3	電動機	181	24.9	繊維機械	165	16.1
産業用ロボット	160	19.6	産業用ロボット	183	24.7	電気・電子計測器	374	15.9
配電機器	551	18.7	デジカメ・ビデオ	372	22.9	バルブ・コック	346	14.3
電動機	144	16.1	その他の配電制御装置	944	18.0	磁気カード・ディスク等	165	12.0
電気・電子計測器	391	16.0	船舶	836	18.0	その他の光学機器	1,025	11.8
建設機械	865	10.6	電気・電子計測器	484	15.4	電動機	124	10.6
機種合計	4,295	* 11.0%	電子デバイス	3,463	15.1	自動車部品	3,720	10.4
			バルブ・コック	455	15.1	建設機械	955	10.4
			機種合計	9,843	* 22.6%	機種合計	9,185	* 26.4%

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合
 通信機械部分品: ケーブル、リピーター等 受信変換・その他送受信: ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器
 理化学用機器: 物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機: 業務用モーター
 その他の光学機器: レーザー、半導体検査装置等 その他の重電機器・部分品: 重電機器部分品、交通管制用機器

図表8. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位: 億円、%)

2016/11			2016/12			2017/1		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
発電機	64	▲ 27.9	産業車両	107	▲ 17.1	鉄道車両	52	▲ 74.2
受信変換その他送受信機器	121	▲ 27.2	TV	106	▲ 16.6	発電機	48	▲ 50.5
通信機械部分品	287	▲ 23.2	航空機部品	667	▲ 16.4	金属加工機械	163	▲ 29.8
貨物自動車	698	▲ 18.6	貨物自動車	748	▲ 13.2	TV	75	▲ 26.5
農業機械	158	▲ 18.0	時計	93	▲ 12.3	時計	63	▲ 21.6
磁気カード・ディスク等	143	▲ 16.8	電子計算機	459	▲ 10.9	農業機械	149	▲ 19.4
TV	91	▲ 16.2	磁気カード・ディスク等	164	▲ 10.0	通信機械部分品	235	▲ 17.5
工作機械	525	▲ 16.0	機種合計	2,344	* 5.4%	写真機の部分品・附属品	85	▲ 14.7
航空機部品	631	▲ 13.1				電子計算機	361	▲ 14.1
写真機の部分品・附属品	130	▲ 11.6				工作機械	448	▲ 13.7
機種合計	2,848	* 7.3%				機種合計	1,679	* 4.8%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～受信変換その他送受信機器等が大きく増加～

1) 1月の機械輸入伸び率は3.3%増と2ヶ月連続のプラスとなった。上位 12 機種のうち 7 機種がプラスとなり、そのうち受信変換その他送受信機器(20.1%増)、その他配電制御装置(14.8%増)、コンデンサー等部分品(10.2%増)が二桁のプラスであった。上位 12 機種のうち、電子デバイス(0.9%減)、携帯電話(0.1%減)をはじめ 5 機種がマイナスであった。

2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に携帯電話、電子計算機、航空機・部品等、白物家電、受信変換・その他送受信機器、医療機械、配電機器、通信機械部分品、TV、時計の 10 機種となっている。

3) 地域別機械輸入額は、全体の 44%を占める中国(3.9%増)、ASEAN・南アジア(11.5%増)、EU(2.7%増)、北米(0.6%増)、韓国・台湾(2.3%減)、その他地域(3.2%減)の順であった。

図表9. 機械輸入額上位12機種 (単位: 億円、%)

2016/11				2016/12				2017/1			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,053	▲ 16.4	10.6	電子デバイス	2,246	▲ 5.7	11.3	電子デバイス	2,347	▲ 0.9	11.1
電子計算機	1,778	▲ 3.5	9.2	電子計算機	1,983	0.8	10.0	携帯電話	2,106	▲ 0.1	10.0
携帯電話	1,560	▲ 5.9	8.1	航空機・部品等	1,475	82.1	7.4	電子計算機	2,071	7.3	9.8
自動車部品	1,225	▲ 2.0	6.3	携帯電話	1,247	22.6	6.3	自動車部品	1,260	4.1	6.0
航空機・部品等	1,187	9.6	6.1	乗用車	1,141	20.2	5.8	航空機・部品等	935	▲ 15.0	4.4
乗用車	930	▲ 8.7	4.8	自動車部品	1,118	▲ 0.2	5.6	乗用車	860	▲ 14.9	4.1
医療機械	678	▲ 1.9	3.5	白物家電	697	▲ 3.7	3.5	白物家電	730	5.9	3.5
白物家電	673	▲ 14.9	3.5	医療機械	673	▲ 6.4	3.4	受信変換その他送受信	652	20.1	3.1
受信変換その他送受信	565	1.1	2.9	受信変換その他送受信	626	15.6	3.2	医療機械	626	▲ 0.3	3.0
配電機器	529	▲ 12.3	2.7	配電機器	540	▲ 2.0	2.7	配電機器	605	4.9	2.9
その他の配電制御装置	401	▲ 7.3	2.1	その他の配電制御装置	407	7.5	2.1	その他の配電制御装置	443	14.8	2.1
コンデンサー等部分品	388	3.1	2.0	コンデンサー等部分品	367	0.6	1.9	コンデンサー等部分品	413	10.2	2.0
12機種合計	11,967		61.9	12機種合計	12,520		63.1	12機種合計	13,048		61.8

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電: 民生用電気機械
 ・受信変換その他送受信機器: ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置: スイッチ、配電盤、制御盤等